



発行：事務局 〒162-0066  
東京都新宿区市谷台町 14-5  
MSビル市ヶ谷台1F

編集：全難聴事務局  
電話：03 (3225) 5600  
FAX：03 (3354) 0046  
URL：<https://www.zennancho.or.jp>  
E-Mail：zennancho@zennancho.or.jp

## 📌 令和5年度障害者自立更生等厚生労働大臣表彰

2月13日（火）、東京會館にて標記の表彰式典が催され、小川光彦理事が令和5年度の更生援護功労者賞を受賞されました。

小川理事は、平成22年から全難聴の理事に就任し、情報文化部部長として部の活動を牽引、情報アクセシビリティの充実や障害者関係の各種規格の標準化に深く関与し、また東日本大震災、熊本地震においても先頭に立って難聴者の支援にあたるなど、多方面において数々の功績をあげてられました。

この度の受賞は、理事一同、たいへん喜ばしく思います。誠におめでとうございます。今後も一層のご活躍を期待しております。

## 令和5年度 障害者自立更生等厚生労働大臣



小川光彦理事（左）と奥様（右） 於：東京會館

## 📌 令和5年度 第3回全難聴理事会を開催しました

2月17日（土）、京都アスニー（京都市）において、第3回理事会を開催しました。理事14名（18名中）、監事2名の出席をいただき、各種の課題について協議いたしました。

主な議題は、令和6年能登半島地震への対応について、補聴医療対策部の改編について、令和6年度事業計画案、事業予算案でした。

限られた時間の中で、全難聴の財源に係ることから専門部の運営についてまで、熱心な議論が行われました。宿谷理事長から「私たちの声を社会に届けるために全難聴という組織は必要」というお言葉があり、理事一同、全難聴を支えていくことの決意を新たにしました。

また、第28回全難聴福祉大会（広島県・広島市）の進捗について、伊達理事から報告がありました。分科会は4つ。観光も魅力的なコースが準備されているようです。

## 📌 テクノエイド協会 令和5年度第2回補聴器協議会

2月3日（土）、テクノエイド協会（東京都）において標記の会合が開催され、全難聴からは宿谷理事長が出席しました。

テクノエイド協会の大橋理事長からは、「全国で288の自治体が高齢者向け補聴器購入支援を始めた。認定補聴器専門店の申請も増えてきている。当会の審査業務も人手不足が生じているが質を落とさないように対応していきたい」と挨拶がありました。

主な議題は、認定補聴器専門店の申請に対する運営基準適合審査の状況について、認定補聴器技能者の更新状況について（対象者1,184名のうち、918名 全体の77.5%の人が更新申請）、第31回認定補聴器技能者試験結果について（受験者420名（男性71.9% 女性28.1%）合格率84%）、令和6年度以降の認定専門店への実地調査について（令和5年度219から令和6年度は381へ）、実務にあたっている補聴器販売店協会や技能者協会への負担増が心配されているそうです。

## 📌 第2回AD国際標準化委員会（本委員会）

2月5日（月）14時～15時25分、オンラインにて標記の委員会が開催され、全難聴からは小川理事が出席しました。経済産業省の事業です。アクセシブルデザイン(AD)機器の利用促進のために、世界共通のルールを作ることが国際貢献上、また国の戦略上有効と考え、共用品推進機構を事務局として、各種製品・サービス規格の国際標準化事業を進めています。JISはこれまで「日本工業規格」として、メートル単位・グラム単位などの物理的規格が中心でしたが、2019年に形のないサービスも取り入れた「日本産業規格」となっています。障害者向けのサービスも規格化できるようになり、今年度はアクセシブルサービスJIS3件を取りまとめるなど、障害者向け規格作成の取り組みが進められているところです。本委員会は小川理事、小委員会委員は情報文化部の鈴木雅弘部員が担当し、聴覚障害者の視点でチェックしています。

委員会では令和5年度の活動内容をまとめ、報告書を作成しました。事業は来年度も継続の見込みです。

## ↑ 補聴器関連団体・全難聴合同協議会

2月10日（土）10：30～12：10、四谷地域センター（東京都）を会場に標記の協議会を開催しました。参加者は、次のとおりです。

補聴器工業会：成沢良幸（理事長）、八嶋隆（事務局長）、補聴器販売店協会：新井英希（常務理事）、高坂雅康（事務局長）、補聴器技能者協会：福澤理（副理事長）。

全難聴側は、瀬谷副理事長、本山理事、小川理事、小倉事務局長の4名が対面参加し、宿谷理事長、湯浅良補聴医療対策部員の2名がオンラインで参加しました。

議題は、①「能登半島地震に対する難聴者の支援について」、各団体で情報交換をしました。メーカーや販売店協会が電池の支給や修理対応を実施しているところもあります。②「補聴器フォーラム開催案について」、全難聴が計画している補聴器フォーラムについて、協力の打診を行ったところ、賛同の回答をいただきました。今後、具体的につめていくこととなります。③「テレコイルについて」、瀬谷副理事長から、補聴器の購入時にユーザーに対する説明不足や設置されている施設や啓発の少なさについて説明がありました。その回答としては、Google マップでループが設置された施設を確認できること（香川県難聴時を持つ親の会作成）、販売店でループの説明を義務付けすることは合理的配慮をもってしても難しいことなどの説明がありました。たいへん有意義な意見交換の機会となりましたので、今後も継続して開催することを確認しました。

## ↑ [JICA 事業] トリバン大学教育病院で職員向けトレーニングを実施

ネパールの難聴者のための病院内意思疎通支援プロジェクトについて経過報告です。

ようやくトリバン大学教育病院の耳鼻頭頸学講座において、職員を対象にしたトレーニングが実施されました。

毎週金曜日（12月29日、1月5日、1月12日）に合計3回が実施され、参加者は46名でした。（内訳は医師11名、医学生10名、耳鼻科医療従事者6名、看護師13名、事務系6名） トレーニングのプログラムは、「難聴の特徴、難聴者の権利」、「コミュニケーションサービス、アクセシブルな環境とは」、「コミュニケーションツール、耳マーク、ガイドブックの検証」で、参加者の感想は好評で全員が皆勤とのことでした。

他の診療科だけでなく、ネパール全体にも広げたいとの意見も出ていたそうです。

今後は、専門職員ごとのトレーニングを実施し、院内でコミュニケーションサポートサービスの開始をめざしていく予定です。



受講後の集合写真。横断幕には全難聴と JICA のロゴがプリントされています

## ↑ 人工内耳メーカー・全難聴合同協議会

2月10日（土）13：50～15：00、四谷地域センター（東京都）を会場に標記の協議会を開催しました。

参加者は、下記のとおりです。日本コクレア：齋藤様（マーケティング部部長・オンライン参加）、メドエルジャパン：中島様（代表取締役社長・オンライン参加）、日本光電：前川様（日本バイオニクス代弁・オンライン参加）

全難聴側は、瀬谷副理事長、本山理事、小川理事、小倉事務局長の4名が対面参加し、宿谷理事長がオンラインで参加しました。

議題は、①「能登半島地震に対する難聴者の支援について」、各メーカーから病院を通じてバッテリーユニットなどの支給を実施されていることが報告されました。

「人工内耳は充電式が多いが、停電時はどのように対応するか？」の質問には、「一般に携帯電話を必要とする人が多く、被災地でもジェネレーターが早期に稼働するので人工内耳の充電も心配は少ない。」②「人工内耳フォーラム開催案について」、人工内耳フォーラムを全国規模でハイブリッド開催する計画について協力の打診を行ったところ、全メーカーから賛同の回答をいただいた。③「プロセッサや電池の助成の地域格差について」、メーカーの意向および全難聴の情報と照らしあわせて、深く協議しました。

今後もメーリングリストで情報交換を行うことを確認しました。

## ↑ 能登半島地震の障害者支援に関する情報交換・意見交換

2月21日（水）14：00～16：00、石川県障害者福祉会館においてJDF 主催による標記の会合があり、全難聴からは宿谷理事長、神矢減災プロジェクトチーム長、小倉事務局長が出席しました。

全要研からは長尾理事と青木石川支部長がご出席くださいました。

会合の趣旨は、今後、JDF が障害者へ支援を行うにあたって、県内の団体関係者から実状や要望などを直接お聞きすることと、今後の支援に向けて県内団体との連携構築を図ることでした。

石川県内の参加団体は、石川県身体障害者団体連合会、石川県視覚障害者協会、石川県聴覚障害者協会、石川県肢体障害者福祉協会、石川県脊髄損傷者協会、石川県手をつなぐ育成会、石川県精神保健福祉家族会連合会、石川盲ろう者友の会の8団体が参加、行政からは、石川県健康福祉部障害保健福祉課の参加があり、JDF 構成団体と関係団体は、15の団体が参加、総勢36名ほどの大きな会議となりました。

阿部会長からは、「東日本大震災のときもJDFの支援員が情報交換会を開いてくれた。

市町村まで情報が入らなかったときに繋がりあう重要性を感じた。地震に対する取り組みは地元とともに行うもの。政府や県へ引き続き必要な要望を伝えていくことが、JDFの役割であると考え」との挨拶がありました。

限られた時間でしたが、被災地の実情を知る貴重な機会となりました。

また、会合の後は、全難聴と全要研で石川県聴覚障害者センターへ訪問し難聴者支援について協力をお願いをしてきました。

## ↑ 理事・専門部の動き (2/1~2/29) ※専門部は対外的活動のみ掲載

- 2月2日 第3回JDF災害総合支援本部会議 [ONLINE](#) (宿谷、小倉)  
2月2日 定期雑誌「鼻アレルギーフロンティア」インタビュー (宿谷)  
2月3日 テクノエイド協会第2回補聴器協議会 (宿谷)  
2月5日 第2回AD国際標準化委員会 [ONLINE](#) (小川)  
2月10日 補聴器関連団体・全難聴合同協議会 [ハイブリッド](#) (宿谷、瀬谷、本山、小倉、小川、湯浅良)  
2月10日 人工内耳メーカー・全難聴合同協議会 [ハイブリッド](#) (宿谷、瀬谷、本山、小倉、小川)  
2月13日 令和5年度障害者自立更生等厚生労働大臣表彰 (小川)  
2月13日 JDF政策委員会 [ハイブリッド](#) (宿谷、南、瀬谷)  
2月14日 情報アクセシビリティ好事例2023説明 [ONLINE](#) (小川)  
2月17日 第3回全難聴理事会 (出席：理事14名、監事2名)  
2月17日 ネパール支援プロジェクト [ONLINE](#) (瀬谷、南、小谷野)  
2月21日 JDF能登半島地震障害者支援に関する情報交換・意見交換 (宿谷、小倉、神矢)  
2月26日 厚労省医政局 かかりつけ医機能分科会に関する意見交換 [ONLINE](#) (小倉)  
2月27日 JDF幹事会 [ONLINE](#) (小倉)  
2月28日 JDF講演会「欧州アクセシビリティ法が拓く未来」 [ハイブリッド](#) (小川、南)  
2月28日 国交省 当事者目線の最終取りまとめに向けた意見交換会 [ONLINE](#) (渡部)  
2月29日 JDF代表者会議 [ONLINE](#) (宿谷)

## ↑ 3月の予定

- 3月2~3日 日本リハビリテーション連携科学学会 第25回大会 [ONLINE](#)  
3月4日 ニーズ・シーズマッチング交流会企画委員会  
3月5日 日本障害者リハビリテーション協会3月理事会 [ONLINE](#)  
3月5日 情報コミュニケーション4団体連絡会 [ハイブリッド](#)  
3月6日 障害者放送通信機構機構理事会  
3月7日 第78回 障害者政策委員会 [ONLINE](#)  
3月8日 「情報アクセシビリティ好事例2023」会議  
3月11日 令和5年度第2回DINF運営委員会  
3月14日 令和5年度中央障害者社会参加推進協議会・部会合同委員会 [ONLINE](#)  
3月15日 障害者等の避難誘導に係る意見交換会 [ONLINE](#)  
3月16日 ネパール支援プロジェクト [ONLINE](#)  
3月27日 日身連 令和5年度第2回定時評議員会 [ONLINE](#)  
3月29日 国土交通省移動等円滑化評価会議